

# ふれあい情報

## 2016年 5月9日(月) 第229号

■発行 日本退職者連合

■発行人 菅井義夫

■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

TEL 03-5295-0507 FAX03-5295-0541

<e-mail>tais yokusharengo@sv.rengo-net.or.jp

<ホームページ>http://tr.jtuc-rengo.jp

連合8階三役会議室で開かれた年金専門委員会で  
課題提起する太田委員長(写真中央、4月28日)



## 年金専門委員会を開催

### 年金改正法案への対応を検討

#### 公的年金制度の概要や現状、課題などで議論

退職者連合は、4月28日午後1時30分から連合本部8階三役会議室で年金専門委員会(委員長・太田敏夫常任幹事)を開き、今第190通常国会に上程されている「国民年金改正法案」への対応について検討しました。委員会には、専門委員、事務局など16名が出席しました。検討結果は、5月17日開催の第5回幹事会にはかられません。

第190通常国会に上程されている法律案の名称は「公的年金制度の持続可能性の向上を図るための国民年金法等の一部を改正する法律案」と称し、安倍政権の常套手段である多くの関係法案を一つに丸めています。

この中でとくに重要なのが「年金額の改定ルールの見直しに関する国民年金・厚生年金の一部を改正する(案)」です。

内容は①マクロ経済スライド発動の際、未調整分が出た場合、その分を翌年以降に繰り越し(キャリアオーバー)、景気回復期において賃金・物価の範囲内で前年度までの未調整分を調整する②賃金変動が物価変動を下回る場合に賃金変動に合わせて年金額を改定する考え方を徹底する、というものです。

## 悪質商法から高齢者を守る

### 特定商取引法・消費者契約法の強化求める院内集会

高齢化の進展や悪質事業者の手口の巧妙化などで増加する消費者被害の防止・救済のため、特定商取引法と消費者契約法の一部を改正する案が今国会に上程されました。

この両法案の成立を求めるため、4月12日(火)16時から衆議院第2議員会館で、全国消費者団体連絡会主催の院内集会在開されました。集会には、議員、退職者連合が参加する「ストップ!迷惑勧誘運動」賛同団体、報道関係者など129名が参加しました。

高齢者の消費生活相談件数は5年間で、1.6倍に増えており、両法の強化は被害防止や迅速な救済となり、高齢者や消費者のくらしの安全・安心につながるものです。集会では多くの議員、参加者から成立を求める発言が相次ぎました。

退職者連合は社会保障制度に関する政策・制度要求の中で、現受給世代と将来世代の年金水準を均衡させるためにマクロ経済スライド自体は受け入れられ、制度発足時の約束である「名目下限は堅持する」よう求めてきました。

専門委員会では、退職者連合の要求堅持を前提にしつつ、改正法案のねらいを明らかにするとともに、公的年金制度の概要や現状と課題などについて多方面から議論を重ねました。検討結果は、第5回幹事に報告された上で7月に開催される第20回定期総会に提出される「2016年度政策・制度要求案」に盛り込まれることとなります。

## 4月29日 第77回メーデー中央大会開く

「支え合い、助け合う心をひとつに力を合わせ、暮らしの底上げを実現しよう！」をスローガンに第77回メーデー中央大会が、4月29日(金)午前10時30分から、東京・代々木公園を会場に連組合員や家族、退職者連合、福祉事業団体、民進党など約4万名が参加して開かれました。主催はメーデー中央実行委員会(連合)。協賛は、中央労福協・労金協会・全労済・中央労金で東京都が後援。退職者連合からは産別・関連退連 21 団体合計400名が参加。阿部保吉会長(写真右)が壇上で紹介されました。



支え合い、助け合いで格差、貧困をなくそうと訴え

(神津・中央実行委員長)



(写真右)中央式典会場を埋めた四万名のメーデー参加者。強い風に構成組織の旗が勢いよくたなびく。(写真下)式典会場の中に設置された退職者連合のテント。



中央大会式典の来賓では、政府を代表して塩崎恭久厚生労働大臣、後援団体からは東京都の前田信弘副知事があいさつを行いました。政党あいさつでは民進党の岡田克也代表が七月の参院選挙に向けて決意を表明しました。また退職者連合の阿部保吉会長が、来賓としてステージに登壇しました。

民進党に注文。自民党には警戒感

中央実行委員長の神津里季生連合会長は主催者あいさつの中で「失業率は改善しているが、その中身は非正規雇用の増加だ。格差、貧困が広がっている」と指摘し、暮らしの底上げが重要だと訴えました。また新しくきた民進党に対しては「目先の人気取りに陥ることなく責任ある政策軸を示し、国民の期待に応えてほしい」と注文をつけました。さらに自民党が進める同一労働同一賃金や保育士、介護士の処遇改善などについてもふれ「参院選挙後に態度が変わることがあってはいけない」と警戒感をあらわにしました。

式典後、参加者は会場内に設けられたふれあい祭りのイベント広場で、NPOやNGOの活動を学んだり、レストランや模擬店などを楽しまました。